

第5期 東久留米市地域産業推進協議会
(第4回会議録)

- 1 日 時 平成29年7月11日(火) 午後6時30分～7時51分
- 2 会 場 東久留米市役所7階702会議室
- 3 出席者等(敬称略・順不同)

岩崎 哲二	大山 賢一	大山 裕嗣	齋藤 正人	篠宮 武博	篠宮 利則
篠宮 宣典	小嶋 敦夫	水越 泰弘	横山 和子	若林 弘子	

事務局 鹿島、関、野村、小山、森本、笹生、里見、武井
ワザバー 2名
欠席 長谷山 大輔

4 報 告

(1) 会長より会議出席に関する報告

(会長) 商工会総代会の出席について。市長、市議、地元で活躍されている先輩方と交流を持ちながら、東久留米市の活性化につながる意見交換をさせて頂いた。

ひがしくるめの絆づくり実行委員会の出席について。一昨年からの取り組みで、東久留米音頭で絆をつなげていこうというもの。市民みんなのまつり(商工祭・農業祭)にて、東久留米音頭を市民のみなさんと一緒に踊るということになっている。是非、地域産業推進協議会の委員も参加して頂ければと思う。

青年会議所のわんぱく相撲東京都大会の出席について。今回の都大会は東久留米市での開催であった。東久留米青年会議所のパワーと団結力を見て、地域産業推進協議会の委員の中にも青年会議所の方がいるので、今後も協力を仰げればと思っている。

(2) 各事業部の取り組みについて(報告・質疑応答)

① イベント推進事業部の取り組みについて

(委員): これまでに計4回の事業部会を開催した。第1回事業部会では、地域産業推進協議会の趣旨を事務局から説明し、各委員立案のイベント(計11)を事務局が預かって内容を調査打診することとなった。

第2回事業部会では、調査打診の結果報告と仕分けを行った。情報発信推進事業部との関連が深いアイデアは情報発信推進事業部へ情報提供することとし

た。

（事務局）事務局より補足。東久留米市内はとバスツアーについて。イベント推進事業部で、市内の観光資源を巡る、はとバスツアーを行ってはどうかとの意見が出た。（株）はとバスの定期観光部企画課では、付加価値、非日常性、プレミアム感、贅沢を割安で、限定感、人々が見たいと感じたら観光地になるということをもとにツアー企画をされているそう。外部からの売り込みツアーをそのまま採用することはないとのこと。市の観光資源を理解してもらうため、資料を送付した。これについて、情報発信推進事業部に情報提供した。

ご当地アイドル・大使の選定検討について。具体的には市出身タレント・有名人などの大使就任や、ご当地アイドルを選出して市を売り出してはどうかという提案を、情報発信推進事業部に提供した。

（委員）第2回目の続きとなるが、第4期からの継続事業となる地場産野菜の料理教室が7月12日と28日に行われる。28日の回に委員と前副会長が講師として参加することが決定した。東久留米市直売所農さんぽマップの改訂版が平成29年3月に発行された。また、第2回会議から「農商工の同時活性化」をメインテーマに協議をしている。

第3回の事業部会では、今年度事業の検討と平成30年度に行うイベント事業の具体案の検討、新規事業の提案をした。「農ウォーク東久留米」をイオンモール東久留米と共同開催する件について協議した結果、イベント推進事業部では可決した。

第4回事業部会では、これまでのまとめと次年度について協議した。現在協議進行中の事業について。市内産のほうれんそう、小松菜を使用したケーキの開発。ポッシュに協力を依頼している。東久留米ブランド・特産品を扱う宣伝プレートの作成。「東久留米大好きっ！」というパンフレットの改訂時に、東久留米ブランド認定品の追加掲載を予定している。

市内野菜を活用したカレーイベント及びレトルト化について協議している。シェアリングエコノミーやクラウドファンディングを活用したイベントの開催について協議中。

保留中の事業もあるが、協議進行中事業優先のため、ここでは割愛する。以上。

②情報発信推進事業部の取り組みについて

(副会長) これまでに計5回の事業部会を開催した。市の情報を発信するツールを何にするかという検討をした中で、**Facebook** ページを立ち上げた。

第2回、3回目では、**Facebook** ページ の運営方法、危険性、運営している他自治体の現状などを話し合った。立ち上げる **Facebook** ページの名前を部会の中で検討し、「東京はしっこ☆チョコット東久留米」、通称「はしチョコ」と決定し、運営を始めた。最初の投稿は事業部の会議風景にした。

Facebook の利点として、これまで街中で共有していた情報を、正確にネット上で日時、場所などを伝えられるということ。風景だけの写真の紹介だと写真が既に出ていてつまらないので、るるめちゃんと一緒に写して投稿している。**Facebook** ページの **QR** コードのシールを作成する計画もしている。

(事務局) 事務局より補足。地域産業推進協議会での **Facebook** ページの運営は初めてのため、地域活性化センターより、「まんてんいこま」の **Facebook** ページの事例を紹介して頂いた。近隣だと小平市の学生が「こだプロ」を運営している。魅力ある投稿を増やすため、委員の皆様にも投稿して頂きたい。

はしちょこに投稿するには個人の **Facebook** のアカウントが必要。事務局が編集者として登録をするので、投稿できるようになる。アカウントを持ちたくないということであれば、メールで写真とコメントを事務局に送って頂ければ、代わりに投稿することも可能。委員にはるるめちゃんのぬいぐるみを貸し出すので、是非投稿をお願いしたい。

他には、東久留米市で行われたわんぱく相撲東京都大会での市の情報発信ということで、観光案内マップを作成し、会場に掲示した。

③新産業創出推進事業部について

(委員) 空き店舗、準工業地域にかかる取り組みを行っている。また東横インの利用状況などご説明させて頂く。

(事務局)

1) 空き店舗の取り組みについて。

①昨年、市で「東久留米市空き店舗等情報提供制度実施要綱」を策定し、空き店舗の解消に向けて取り組んでいる。要綱の目的としては、空き店舗の情報を市ホームページに掲載し、公表することにより、新規事業者の誘致と空き店舗の解消を目指すもの。平成28年度は1件掲載したところ、事業者が入り、空き店舗状態が解消された。平成29年度はまだ掲載申請がない。市内を巡ってみると商店街には空き店舗があり、各商店街の会長に、会員に申請を促すよう

依頼をしたが、申請がない状況。また、商店街、主に滝山、旧市役所通りを現地調査したところ、空き店舗と見られるところがあったが、「テナント募集中」の看板がないところもあり、空き店舗であってもテナントを募集していない可能性があった。「テナント募集中」の看板があるところについては、直接手紙を投函したが、現在申請がない。空き店舗を持っている方を知っていたら、登録をするよう勧めてほしい。

②平成28年度、商工会内に空き店舗の解消を目指す「空き店舗対策推進委員会」が設立された。委員会の目標は、空き店舗に創業希望者（商工会会員候補者）を呼び込むことにより、市内の商業の空洞化を抑制し、活性化に繋げようとするもの。委員会は商工会と協力し、空き店舗の情報を集約し、創業希望者の出店希望地とのマッチングを図っている。平成29年度において、当該委員会は4月に1度開催され、HPの整備、空き店舗情報の集約等の取り組みを行っている。また、委員会では小規模な住宅工事などを会員事業所にあっせんする「小規模改修工事あっせん業」を実施することになった。

2) 準工業地域にかかる取り組みについて。

①こちらは新産業創出推進事業部で大きく取り組んでいる。準工業地域とは、市内全体で5%しかない地域で、事業を行うのに向いた地域である。しかし、この地域内の多くの土地が「第一種低層住居専用地域」でも建設することが可能な「住宅」となっている現状があり、住宅地が増大していくと、工業の利便を増進することができず、新規に事業を行う企業を誘致する機会の減少や、市内事業所で業績が好調で事業の拡大を計画しているにも関わらず、移転先が見つからない事業者が他市町村へ流出することが予想され、市の産業発展に好ましくない影響が生じると考えられる。

②以上のような現状を踏まえ、次のような取り込みを行うべきとの提案があった。

○一定規模の準工業地域の土地の所有者に対し、啓蒙のためのチラシを配布する。

○市内に土地を求める企業を登録し、市ホームページに掲載するシステムを作る。

③チラシ配布により、所有者が土地の売却等活用を考えた時に情報を利用することによって、市は当該地域の土地の利活用を知ることができ、所有者にとっては活用の選択肢が増えるため、双方にメリットがある事業である。

3) 東横インに関する取組について。

①東横インのホームページをみて、算出したところ、平均稼働率は85%程度であった。東横インのホームページで毎日同じ時間帯に空き室数をチェックして算出したもの。

②宿泊者が何の目的で東久留米市にきたかということについて、商工会が宿泊者へアンケートを実施した。平成29年6月から一か月程度行い、調査する予定。アンケート内容としては、宿泊者の目的や、目的地、滞在中の食事をどこでされるかなどとなっており、どうしたら市の産業が発展するのかということを検討することになっている。

(委員) 空き店舗のシステムについては、残念ながら思ったほどの需要はない。商工会でも同様の事業をしているので、将来的には商工会で活性化してもらいたいと考えている。準工業地域への取り組みについては、啓蒙方法について検討した結果、チラシの配布という方法となった。

(会長) イベント推進事業部へのご意見・ご質問をお願いします。

(副会長) 地場産野菜の料理教室について、委員が参加しどのようなことをするのか。

(事務局) 前副会長にも特別講師として参加をしてもらうこととなっているが、都市部で委員や前副会長のような、若手農業者が活躍されているということに参加される親子に紹介したい。また、都市で行われる農業について、その重要性についてアピールする。具体的には、農業に関する質問や苦勞話、やりがい、クイズなどを予定している。

(会長) 農ウォーク東久留米の、募集や中身の詳細について。

(事務局) 議事の三番で検討します。

(委員) 第3回の地域産業推進協議会で料理教室の動画を載せてはと意見があったが、どのような動画を要望しているか。

(副会長) 会場の雰囲気や、料理の過程など。

(会長) 情報発信推進事業部へのご意見・ご質問をお願いします。

(委員) Facebook ページへの反応、「いいね」の数は。今後「いいね」を増やしていくのにどのような取り組みをしていく予定か。

(副会長) 現在までで投稿数は 25 件。「いいね」の数は最高で 29 件で、まだまだ少ないのが現状。今後増やしていく取り組みについては、地域産業推進協議会の委員が投稿を増やし、また、個人のページでシェアするなど、委員の発信により認知を増やしていきたい。ご協力をお願いします。

(会長) Facebook ページ利用上の注意について。

(副会長) SNS の利用の注意について、総務省のホームページにも記載されている。様々な問題があるが、基本的なルールを守ること。個人の秘密、誹謗中傷など基本的なネットルールを守る。他は、「東京はしっこ☆チョコット東久留米」の Facebook コミュニティガイドラインをご覧ください。政治・宗教の内容は禁止です。

(会長) 新産業創出推進事業部へのご意見・ご質問をお願いします。

(副会長) 東横インの平均稼働率について、全国平均と比べると高いのか。

(事務局) 全国平均は調べていない。

(事務局) 今インターネットで検索したところ、「データファイル全国 61 都市ホテルパフォーマンス速報」によると、2017 年 2 月の全国平均客室稼働率は 81.9% である。

(委員) 予約の画面からの算出であるが、東横インは午前 0 時を過ぎるとシンデレラリバティプランとなり、飛び込みで安くなるので、予約に反映されていない部分で、実際の稼働率はもっと高いのではないか。

(委員) アンケートは日本語だが、外国人についての確認もした方がいいのではないか。

(委員) 当初、商工会で外国語も提案したが、東横インの宿泊者はほとんど日

本人とのことで、敢えて対応しなかった。

5 議 事

(1) ダイヤモンド富士

(事務局) 地域産業推進協議会の提案で、ダイヤモンド富士の時期に2日間、イトーヨーカ堂の屋上の解放を依頼していたが、今年も解放依頼してよろしいか。また、もともと地域産業推進協議会ではダイヤモンド富士について、観光だけでなく商店街の振興にも活かしていこうという話もあったので、駅で特産品の販売やPRをやってはどうか。

(全員) 例年通り、屋上解放依頼をするということで問題ない。

(事務局) 販売、PRに関しては、地域産業推進協議会としての出店が難しいのであれば、委員個人や、委員の知人などに情報提供し出店してもらっても良い。

(会長) 販売、PRについては、事務局から各事業部に情報提供をするので、適宜検討して下さい。

(2) 観光マップの増刷

(事務局) 「東久留米みつけた」日本語版 15,000 部、英語版 5,000 部の予算がついた。今回は道やお店の変更など軽微な変更となるが、どうしても追加したいものがあれば、7月21日までにご意見下さい。

(会長) 修正案を事務局から提案してもらい、各事業部で検討する。表紙になっている南沢獅子舞が今年行われる。

(委員) 10月7日は夜1回、8日は昼過ぎと夜の2回、南沢氷川神社、多聞寺で行われる。4年に一回の珍しいお祭りなので、是非参加とPRをお願いしたい。

(副会長) 「東久留米みつけた」の⑧番のお店は、現在ない。

(事務局) お店に関しては、増刷時点で全て確認し直します。

(委員) 観光客向けであると、地図上にA1など地点が分かる記載がないと、各観光地点がどこにあるのかすぐに判別できず不親切でないか。

(3) 農ウォーク東久留米について

(事務局) 11月25日土曜日、時間は9時から13時、30名から40名程度の募集をする予定。東久留米駅からイオンモール東久留米店までを散策して頂く。地域産業推進協議会の主催事業としてよろしいか。市内の見どころを散策してもらいながら、農地訪問や収穫体験をしてもらうことによって、東久留米の農産物の品質の良さに気付いてもらい、東久留米のファンを増やすことを目的としている。

イオンモール株式会社が地域と連携して心と体を豊かにするウェルネス&フィットネス事業で、市と連携してイベントを行いたいと考えていたことから、話が進むことになった。農家の重要性、豊かな自然のPR、東久留米市の認知率の向上につながると考えている。

(会長) 主催事業として進めていきたい。

(4) 東久留米市市民みんなのまつり(商工祭・農業祭)への協力

(事務局) 例年、地域産業推進協議会ではるめちゃんに出演してもらい、協力してもらっているが、今年も協力してもらえるか。

(会長) 市民みんなのまつりへの出店などで、忙しい委員もいる可能性があるので、事業部の中で話し合う。市民みんなのまつりの前に、地域産業推進協議会が開催できると思うので、その時にまた議事とする。

(5) ひがしくるめの絆づくり実行委員会への協力について

(事務局) 東久留米の絆を深めて、地域の活性化に繋げていこうという市長の考えのもとに始まった事業。昨年は450人の参加があったので、今年は500人を目指している。是非参加をお願いしたい。

(会長) 市民みんなのまつりで行われる事業であるため、4の議事と含めて検討する。

(事務局) 老人クラブ連合会主催の練習会が7月30日、第七小学校にて行われる。時間は9時50分から。どなたでも参加可能なため、是非ご参加をお願いします。

(会長) 会議には私が出席するので、委員は当日の協力をお願いしたい。

（６）七福神めぐり実行委員会への協力について

（事務局）例年、会場整理等、協力してもらっているが、今年も協力して頂けるか。

（会長）もともと、委員が地域産業推進協議会の会長であったときに、地域産業推進協議会の中から立ち上がった事業であるため、今年も協力する。

（委員）西武鉄道が地域産業推進協議会の委員であったときに、西武鉄道主催の事業として始まった。その後、実行委員会主催となったもの。十何年続いている事業なので、是非協力してもらいたい。

６ 連 絡

（事務局）ゆるきゃらグランプリに今年も「湧水の妖精 るるめちゃん」が出場します。８月１日１０時から投票開始となるので、一日一票投票お願い致します。

（委員）部会で決まったことについて、地域産業推進協議会の委員全員に情報を流してもらいたい。

以上